

# ASAP

Asia School Attendance Partnership

## あきる野 多摩川学園

# カンボジア校通信

NPO 法人「アジアの子どもたちの就学を支援する会」(ASAP)



22年8月 トロク小にて

## CONTENTS

- ASAP活動概要…P1
- 第12回教育支援ツアーを終えて  
長谷川理事長…P2
- ASAP 活動報告 (2009.9~2010.8)…P3~5
- 22年度活動計画…P6
- Mother to Mother 事業報告…P7
- カンボジア あれ これ…P8
- 21年度通常総会のご報告…P9~10
- 第13回支援ツアーのご案内

2010.10

# Vol. 6

# ASAP 活動概要

「アジアの子どもたちの就学を支援する会(ASAP)」は、カンボジアの子ども達の就学を継続して支援するために活動しています。

## 学校建設事業

長く続いた内戦が終わり国民が「本当に平和になった」と感じ始めたのは2000年に入ってから。国の予算は道路等のインフラ整備の方に重点が置かれ学校教育へはなかなか回らず、椰子の葉や崩れかけた校舎の学校が沢山あります。教育は国づくりの原点です。子どもたちが学ぶ拠点となる学校の校舎寄贈を続けます。



## 就学率向上にむけた息の長い支援を目指します

学校が建っても最貧困家庭の子ども達は制服が買えないために、あるいは労働の為に学校に通うことができません。校舎寄贈だけでは本当に貧しい子ども達の就学には繋がらないことがわかり校舎寄贈にとどまらず地域の子どもの100%就学率を目指し継続した支援を続けます



- ◆生活できないほどの貧給で離職していく先生が、何とか継続して勤める事ができるよう教育支援金を支給します。
  - ◆小学校や中学校で最低必要な教育備品類を支援します
  - ◆新一年生に制服を支給し入学を呼びかけます
- \*以上は必要と判断された学校のみ



## 子どもの労働に代わる仕事を支援します

生活費を得るために子供を働かせざるをえない家庭の母親達に仕事を提供し、子供を学校へと呼びかける「Mother to Mother 事業」を広めています。日本の子ども達が幼稚園や学校で使う小物を手作りの苦手な日本のお母さん達の代わりに作ってもらい、お互いが助け合う活動です。日本のお母さん達は使い易い手作りを、カンボジアのお母さん達は現金収入を得ることができます。



## その他草の根的支援活動

子どもの健全な発育、村の自立に必要な支援をします。(井戸の寄贈等)

## 国内での活動

カンボジアの現状を知って頂き、支援の輪を広げていく為に活動します



## 第12回視察訪問を終えて

理事長 長谷川 安年

平成22年8月3日～18日の日程で、副理事長池田氏、理事勝西氏ら計5名により昨年夏から一年ぶりになる第12回視察訪問を実施しました。

ASAP発足以来年2回の訪問を実施してきましたのですが、今年は私が会員でありますロータリークラブが2月に開催した地区大会実行委員長を務めたため、どうしても日程が合わず訪問を断念し、今回の訪問となりました。

毎回の訪問同様ASAP発足以来継続しているタットム、トロク両小学校へ「現地視察」「先生への教育支援金給付」「卒業アルバム・新入生制服授与」を行うと共に、第3校目に当たる新校舎寄贈の契約を行うことが大きな目的でした

新校舎寄贈に関しては後に詳しくお伝えしますが、タットム、トロク両校におきましては支援を始めてから満5カ年が過ぎ、その間12回の訪問を継続した結果、両学校の教育環境は大きく変わりました。



支援当初は50%だった未就学児童数は現在ゼロになり、最貧困家庭への仕事提供でタットム校の中退者が減少しました。更に今回、臨時職員が正規職員として2名も戻ってきたという大ニュースが入り、地道な支援活動を続けきたその成果に喜ぶばかりです。更にここで3校目の寄贈が実現し、「あまりにも悲惨なカンボジアの村の子ども達の教育環境に手を差し伸べたい」と始まった支援活動が確実に実を結んでいることを大変嬉しく思っています。

平成22年2月25日出版の週間文春の記事「美談のカンボジア小学校は荒れ果てた」についてお話をさせていただきます。(コピーを挟ませて頂きました) 島田伸介さんが「行列のできる法律相談所」でカンボジアに寄贈した小学校を、その後アボなしで訪問したあるNPOが見た光景はひどいものだったそうです。寄贈したハーモニカは売られてしまい、水タンクにはサソリが住み、先生達は生活の為に畑仕事に行っていたびたび学校を休み、中退していく沢山の生徒達…。「学校校舎を遺贈するだけではなく寄贈後継続して支援することが実は一番大切である」という内容の記事でした。まさにASAPの意を得たりようの記事に、私達の支援活動が地道ではあるけれどもけっして間違っていないことを確信しました。

ASAPの方針は「建物の寄贈に終わることなく、子ども達の就学のために継続した支援を行う」ことです。この方針にご賛同頂きご支援してくださっている皆様の思いをしっかりと受け止められる限り現地に足を運び、本当に必要なところに支援が届くように活動を続けて参りますので、どうか引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます

### <第12回視察訪問内容>

2010年8月3日～18日

長谷川理事長、池田副理事、勝西理事を含む5名

- \* 教師へ教育支援金支給
- \* 卒業式出席(アルバム授与式)
- \* 新1年生に制服授与
- \* 必要文具(ノート・鉛筆・定規その他)600\$
- \* アンプール保健所に水道ポンプ寄贈
- \* ワットタメイ小学校建築の契約
- \* 「幼い難民を考える会」現地事務所訪問
- \* マザーテレサ孤児院訪問&ボランティア
- \* プノンペン郊外バサックスラム訪問
- \* 地方都市コンポンチャム訪問・図書館見学
- \* 光日本語学校にてボランティア

## 2009年9月～2010年8月 活動報告

### 皆さんの支援金で第3校舎目、寄贈決定!!!

ASAP発足以来カンボジアでの活動を支えてくれているシンホンさんから2年前より校舎寄贈の支援をお願いされていたワットタメイ小学校校舎寄贈を第3校目として、7月の理事会で決定しました。

ワットタメイ小学校はプノンペンから車で1時間ほど郊外の村の学校で、生徒数1450人に対し教室は16教室しかありません。最貧困の村ではありませんが、急発展しているプノンペン郊外に位置するため人口の増加が著しく、子どもの数が急増してきて教室がとても足りない現状

です。ASAPの方針である「継続した支援」を行うためにはトロク小やタットム小のあるシェムリアップから離れたプノンペン郊外だとその「距離」が問題になるのではないかとの意見もありましたが、

とても教育に熱心な村長・郡長と話し合いを重ね、

- ・ 建物の管理はシンホンさんが定期的に訪問し点検する
- ・ 継続した教材や先生への支援は必要ない（村や郡が支援できる状態である）

と判断し、校舎寄贈を決定しました。尚建築費用のうちの約半額に当たる200万円を理事長長谷川夫妻より結婚50年の記念として寄付を受け、これを建築費用に充当させて頂くことを報告させていただきます。



★寄贈を聞き喜ぶワットタメイの子ども達  
ホームページでは声が聞けます。  
以下のURLをクリックしてください。  
[http://tamagawa-kids.jp/asap/tusin/video\\_201010.AVI](http://tamagawa-kids.jp/asap/tusin/video_201010.AVI)

### 教育支援金 力を発揮!!

大変嬉しいことにトロク、タットム両校で過去臨時教員として在籍していた2人の教師が正式教員の資格を取って学校に戻ってきました!! 本人が教育庁に希望勤務地をタットム（トロク）に出した結果です。

貧給で離職する教師の定着率を上げ、意欲向上を目的とした教育支援金が力を発揮した喜びをかみしめ、今年も教育支援金支給を以下の内容で実施しました。

4月7日 15名(6か月分180\$11人・2か月分60\$4人)計2220\$

8月6日 14名(6ヶ月分180\$ 14人)計2520\$



**先生!**  
**お帰りなさい!!**

### 6年生にアルバムを、新一年生に制服を授与

8月5日6年生とその父母、新1年生と5年生および村長が出席し盛大に卒業式が行われました。カンボジアには卒業式や入学式の習慣がありません。卒業と入学を祝うため、6年生には共同で作った卒業アルバムを贈り、新1年生トロク校57名タットム校40名に制服を支給しました。

## 50%だった未就学児童数が今年も引き続きゼロに！！

ASAPの前身「あきる野多摩川学園カンボジア校を育てる会」が発足した5年前の聞き取り調査では、村の就学率は50%、2人に1人は学校に就学していない状態でした。

学校を建てても本当に貧しい家庭の子どもは学校に行けない実態を知り、どうしたら問題が解決できるのか手探りで進んできたこの5年間でしたが、**昨年に引き続き今年も未就学児童ゼロ達成です！！**

先生達への支援金給付、給付するごとに続けた話し合い、子どもの労働力に頼った農村の未就学児童問題の解決に向けて考え出した「Mother to Mother 事業」。地道な活動でしたが、成果が徐々に現れてきました。支援頂いている皆様にこの報告ができて本当に嬉しい限りです。しかし町での平均月収が50~60\$の中、先生達の給料は昔のままの30\$、依然として学校への年間予算もほとんど有りません。まだ学校や先生が自立して運営していくのは難しい状況です。良い先生を確保し熱意を持って子ども達の教育に当たれる環境を守り、いかに学校の自立へ繋げていくか先を見据えた支援を続けます。



## トロク小学校に教科書を寄贈しました

両校に最低限必要な教育用品を支援しました。また入学者の増えたトロク小の不足教科書（数学・国語・社会・理科計178冊）を支援しました。

## 保健所に水道ポンプを寄贈しました

病院が少ないカンボジアの村では、保健所が出産や予防接種を始め病気治療の要となっています。シェムリアップから車で30分ほどのアンプール保健所は、スイス人の寄付によりブロック作りの建物、立派な井戸、トイレ、水タンクなどこざっぱりとした施設に建て替えられました。しかし肝心のタンクに水を送るポンプがなく、せっかくの設備が機能していません。なんとかポンプを寄贈していただけないかとお願いされました。病人が集まる場所で「水」が不自由では大変な問題と判断し寄贈を決定し、8月15日、ASAPのロゴを記入したHONDAの新しいポンプが設置されました。後日保健所より、「設置以来2人の出産が無事終わり、ポンプが本当に役立っていると」お礼のメールが入りました。施設を寄贈したスイス人がポンプを寄贈しなかった本当の理由はわかりませんが（スタッフによると病気の為らしい）、「建物寄贈で終わってしまう支援がかかえる問題点」を垣間見ました。



初めて水が流れた水道

## タットム校の校舎の補修工事を実施しました

タットム校舎にて手抜き工事発覚後の補修工事を行った後、再度雨漏りが確認された為、2009年12月、再び補修工事をおこないました。（シンホンさんが工事を担当し大変スムーズに行われました）

## 国内での活動報告

- ◆ **活動を知ってもらい、支援者の方には支援の内容、成果をお知らせできるよう努めました**
- ◆ プチ通信（2回）カンボジア校通信（1回）を発行しました
- ◆ 22年2月にホテルニューオータニにて2日間にわたり行われたロータリークラブ地区大会会場や多摩川幼稚園の作品展にてASAPのカンボジア支援の展示及び製品販売をおこないました。
- ◆ ホームページを更新し、支援活動のDVDや過去のカンボジア校通信も回覧できるようになりました
- ◆ スムーズな展示活動のためにASAPのパネルを製作しました（サイン工房大野屋さんのご支援により格安で製作できました）



- ◆ **多摩川幼稚園の職員、在園児父母、卒園生父兄等、沢山のボランティアによるMother to Mother品の準備活動を行いました**
  - \* 布の購入
  - \* 重量を減らして送料を抑えるために日本で布の裁断をしました
  - \* カンボジアから届いた製品の、洗濯とアイロン、紐やゴムを通しました



布の裁断ボランティア



幼稚園職員によるアイロンがけ

- ◆ **製品の販売を広めました**
  - \* 多摩川幼稚園で販売（通年）
  - \* 近隣幼稚園、保育園で販売のご協力を頂きました（21年度協力園 あすなろ保育園・松原保育園・さくら木保育園・かしの木幼稚園）

## 2010年度 活動計画

### ◆ ワットタメイ新校舎完成（2011年1月予定）

9月に着工しました。報告が定期的に届きます



### ◆ タットム小学校新井戸寄贈（2011年予定）

以前ASAPで寄贈した井戸がとうとう使えなくなってしまった事がわかりました。一般的に使われている井戸でしたが穴が浅く平均使用年数4~5年といえます。現在は遠慮をしながら村の共同井戸を使っています。学校生活で水が自由にならないことは大きな問題です。現在簡単に使用不能にならないしっかりした井戸を作る計画が進んでいます。



村には娯楽がないため、工事現場に子ども達が集まってきます

### ◆ 就学率向上と教育環境改善のための支援を継続します

年2回の訪問を実施し、確実な支援を継続します。

Mother to Mother 事業の安定を目指し、手作り品販売の協力を呼びかけます。更に販売利益とお母さん達との共同出資で手動のロックミシンの購入を計画しています。

### ◆ 現地視察の中で必要と認められる草の根的支援を実行します

### ◆ 学生を中心とした参加型スタディーツアー実施を目指します

**新企画!**

これからの世の中を担っていく若い学生達に国際協力や相互理解をふかめてもらう機会を提供するために参加型スタディーツアーを計画しています。学生達と協働した学校建設、今まで培ってきた信頼関係を基にしたルムチェック村ホームステイ体験、保健所・孤児院・スラムなどでのボランティア体験などの実施を目指します。★ご興味のある方は是非お問い合わせ下さい!!

自分達も何かしてみたい…

そんな若者を募集しています!!



NPO法人「アジアの子どもたちの就学を支援する会(ASAP)」では、

**やってみたい!** という情熱を持った若者を応援します

**君達のパワーを発展途上国支援にむけてみませんか!!**

# Mother to Mother

## 活動報告



買い取りの様子

### タットム小学校の中退者が減少しました！！

稼ぐ為に中退していく最貧困の子ども達を減らす目的で始まったカンボジアのお母さん達による裁縫プロジェクト Mother to Mother ですが、今回、プロジェクト実施中のタットム小の中退者がトロク小に比べ大変少ないことが判りました。(トロク小 **32人** タットム小 **3人**) Mother to Mother の影響のみとは言えませんが、担当のお母さん達が「子どもを働かせないですむ」と喜んでいるのを聞くと、間違いなく子供を学校へ行かせるための収入源としての効果を発揮している手ごたえを感じます。両国間の送料がかなり高額な上、販売価格を抑えている為収益は多くはありませんが、余剰金も少し出てきました。今年はその利益とお母さん達が得たお金と共同出資して足踏みロックミシンを購入する予定です。お母さん達が出資できるようになったなんて、なんだかワクワクしませんか？トロク小学校でもぜひという声が出ています。販売量を増やして活動を広げていきたいと思えます。皆様の応援をお願いします！！

収入 販売収入約 ¥390,000

支出 材料費、送料、お母さん達への報酬計約¥270,000

収益 約¥120,000

5年生が働いて...



5年生の子どもが農繁期小作として稼ぐお金は**1日1\$**。建設現場だと**30人で1日5\$**ということです。「お金があれば子どもを学校へ行かせたい」と母親は口をそろえます。担当のお母さん達が一人一年間 80~100\$ぐらいを安定して稼げることを目指したいと考えています

### 眠っている不要の布で支援活動を！！

Mother to Mother 事業で使う布の寄付を募っています。引き出しの奥に眠っていませんか？

★子ども向けの**かわいい模様限定** ★大きさは**30センチ以上**あるもの ★**木綿** 限定です。

**バザーなどで販売してもらえますか？** 具体的方法についてはご相談下さい。



# カンボジア あれこれ

事務局大沼です。孤児院やスラムを視察&ボランティアをしながら2週間滞在して「見た」カンボジアです

## 現地を視察する大切さを知った出来事

トロック小学校の職員室に大きなオルガンが置いてありました。「すごい！」と思ったのもつかの間。何とそれは「電子オルガン」。村に電気が来ていないというのに！！いったいどうやって音を出せというのでしょうか!? 韓国のODAから届いた支援品ということでした。

現地で一番必要な支援は何か。足を運ぶ大切さを改めて感じました。



無用の長物電子オルガン

## なかなかやるぞ！日本の若者！！

今回の滞在での大きな収穫は、ボランティアで来ている沢山の若者に出会ったことでした。

一人で日本語の先生をがんばっている人、サッカーグラウンドを寄付したグループ、募金を募り学校を寄贈した大学生、スラムで一人3年間支援活動にあたる女性、本当に沢山の若者が支援活動にかかわっていました。日本にいると「今の若者は…」と思うことが多かったのですが、自分の思い込みを反省。「やりたいけどきっかけや方法がわからない人が沢山いますよ」という沢山の声に背中を押されてASAPでもそんな若者と一緒に活動してみようと計画中です

## クモを食べたぞー！！

シンホンさんの奥さんが「これ美味しいのよ～」とビニール袋いっぱい買ったその勢いに釣られて人生で絶対にないだらうと思っていた

「クモを食べる体験」をしてしまいました！！

食感 川海老のから揚げ

味 甘露煮

総合評価

想像より美味しい



(娘)

## 日本語学校でボランティア体験

シンホンさんが経営する語学学校で日本語先生ボランティアを一週間体験してきました。

カンボジアでは外国語ができることが仕事につながるため、沢山の若者が仕事前の早朝から夜遅くまで勉強していました。受け持つクラスは1日2～3時間。テキストに沿って、時にはゲームやクイズ形式で楽しんだり、日本の習慣について説明したり。熱心な生徒たちとあつという間に過ぎてしまいます。ちなみに宿泊は学校の寮に挑戦(一泊1000円。食事つきは1200円)無理ならホテルに移る覚悟で利用したのですが、スタッフとも交流でき、なかなか快適でした。先生ボランティアに参加するには生活サポート料金として200～300ドルかかりますが、普通の旅行でなく少し長期で何かをしてみたいという方にはかなりお勧めです。中高年の方も少なくないそうです。ご興味のある方はご相談下さい！



バイクで運ばれる豚！！生きてます

## 一人では渡れないカンボジアの大通り

カンボジアの通りには信号が余りありません。そこにバイクと車のごちゃごちゃと走っています。問題はそこを横断するときです。車が途切れるのをいつまで待っていては永遠に渡れません！どうするか…とにかく渡ろうとしている現地の人を探し袖をつかみ「一緒に渡ってー！」と頼むしかありません。「ホラホラつかまって」みたいな感じで一緒に渡ってくれます！

# 平成22年度 通常総会のご報告

去る9月22日に多摩川幼稚園にて平成22年度の通常総会が開催され、平成21年度事業報告、収支決算、平成22年度事業計画、収支予算、役員改選、認定NPO法人への認定申請を目指す事が承認されました。以下、事業報告、決算、事業計画、予算、役員改選の概要です。

## 1 21年度 事業報告(事業の成果)

平成21年度はトロク小学校及びタットム小学校並びに両校区の学齢児家庭に対して引き続き、教科書・教具等に加え、新入生への制服支給、卒業生全員に手作りの「卒業アルバム」を寄贈するとともに、教員給与の補助を通し人材の確保と教育の質向上を促しました。20年度から始めた幼稚園で使用する用品の製作・購入を通して日本とカンボジアのお母さん達をつなぐ「マザー・ツー・マザー事業」については、都内の幼稚園、保育園の協力も得て支援者を増やすことが出来ました。さらに広報誌の発行、ホームページの充実、ロータリークラブ地区大会、近隣幼稚園の行事にも積極的に参加して事業の支援をもとめるPR活動を展開しました。

## 2 平成21年度 収支決算(概要) (平成21年7月1日から22年6月30日まで)

(単位:円)

<b>I 経常収入の部</b>		<b>IIIその他資金収入の部</b>	<b>0</b>
1 会費収入	1,488,000	<b>IVその他資金支出の部</b>	<b>0</b>
2 寄付金収入	2,192,200		
Mother to Mother 収入含む			
3 その他の収入	1,120		
<b>経常収入合計</b>	<b>3,681,320</b>		
<b>II 経常支出の部</b>			
1 事業費	1,097,001	<b>当期収支差額</b>	<b>2,450,908</b>
(1)教育機関運営支援	519,372	<b>前期繰越収支差額</b>	<b>3,995,770</b>
(2)就学困難家庭支援	301,828	<b>次期繰越収支差額</b>	<b>6,446,678</b>
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	90,192		
(4)現地事務所運営	185,609		
2 管理費	133,411		
<b>経常支出合計</b>	<b>1,230,412</b>		
<b>経常収支差額</b>	<b>2,450,908</b>		

## 3 平成22年度 事業計画(事業の実施方針)

引き続きトロク小学校、タットム小学校(一部中学校を含む)に対し、教科書・教具等の寄贈及び教員給与の補助を通し人材の確保と教育の質的向上を促します。また学齢児童および家庭に対しては、引き続き新入生への制服支給と「手作り卒業アルバム」の寄贈、「マザー・ツー・マザー事業」等児童・父兄の啓発事業を継続し就学率の向上を図ります。更に乳幼児から青少年に至る保健衛生レベル向上のため、アンプール保健所に水道ポンプを寄贈するほか、プノンペン郊外のワットタメイ小学校へ新校舎を寄贈します。また、学生ボランティア派遣事業について研究を開始します。

一方、法人に対する寄付者、寄付金を増やし、財政基盤の安定を期し、23年度中の「認定法人」申請をめざし、事務局長を選任し、体制の整備を図ります。さらに広報誌の発行、ホームページの充実による広報・啓発事業を継続し、支援の効率性を高め、国内の支援基盤を強化します

#### 4 平成21年度収支予算(概要) (平成22年7月1日から23年6月30日まで)

(単位:円)

<b>I 経常収入の部</b>		<b>IIIその他資金収入の部</b>	0
1会費収入	1,600,000	<b>IVその他資金支出の部</b>	0
2寄付金収入	2,000,000		
3その他の収入	2,000		
<b>経常収入合計</b>	<b>3,602,000</b>		
<b>II経常支出の部</b>			
1 事業費	7,940,000	<b>当期収支差額</b>	<b>-5,048,000</b>
(1)教育機関運営支援	6,240,000	<b>前期繰越収支差額</b>	<b>6,325,441</b>
*校舎の建設費を含む		<b>次期繰越収支差額</b>	<b>1,277,441</b>
(2)就学困難家庭支援	910,000		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	570,000		
(4)現地事務所運営	220,000		
2 管理費	710,000		
<b>経常支出合計</b>	<b>8,650,000</b>		
<b>経常収支差額</b>	<b>-5,048,000</b>		

#### 5 役員改選の報告

下記役員の改選が承認されました

池田 五郎氏 理事(副理事長) 退任 顧問就任

勝西 光治氏 副理事長 就任

大沼 陽子氏 理事(副理事長) 事務局長 新任

松村 和夫氏 理事 新任

若槻 康二氏 監事 退任

竹松紘一郎氏 監事 新任

○理事が1名増で9名、副理事長2名の体制となりました。

#### 6 認定NPO法人への認定申請について

一般のNPO法人は所轄庁(内閣府または都道府県)から認証をうける必要がありますが、認定NPO法人とはさらに一定の要件を満たす法人として国税庁長官の認定を受けているものをいいます。認定NPO法人になることによるメリットは寄付者に対する税制上の措置(寄付金控除の対象になります)、認定NPO法人に対する税制上の措置などがある他、内部管理をよりしっかりすることが求められることにより、社会からの信用も高まります。現在ASA PはNPO法人ですが、20年度税制改正において小規模NPO法人向けの要件が大幅に緩和されたことに伴い、認定NPOの認定申請を目指すことになりました。

## 第13回支援ツアーのご案内

ワットタメイ小学校落成式出席の為に、23年2月、第13回支援ツアーを開催します  
詳細は未定ですが、2月10日(木)～16日(水)、費用13～15万円程度の予定です。  
ひとつの国が発展していく状態を目で見て体感する機会はそうあることではないと思います。  
カンボジアという国は今まさにその状態です。『今』しかありません！(私が初めて行った4年前とはもうかなり違っていています！)混沌とした魅力あふれるカンボジアの国に、ただの観光旅行とは一味違う支援ツアーで行ってみませんか？ご興味のある方はASAP連絡先までお問い合わせください。\*航空便の予約の都合上、一応10月末に締め切らせて頂きます

## ご支援を有難うございました

ASAPが発足して5年。毎年寄せて頂く400万円近くの支援金に心からお礼を申し上げます。感謝と共に、その寄付金に込められた皆様の「子ども達が教育を受けられるように！！」という思いが伝わり、NPOとしての使命の重さを感じます。皆さんから預かった大切な支援金を、本当に必要とするところに届け、その報告をできる限り詳しくお伝えすることができるように今年も活動を続けます。引き続きご支援頂けましたら、大変ありがたく存じます。

### ご支援頂けましたら大変ありがたく存じます

ご寄付頂く会費又は支援金は下記口座に振り込みをお願い致します。  
\* 正会員…毎月5000円(年額60000円)  
\* 賛助会員…毎月1000円(年額12000円)  
\* その他支援金…随時金額を問わず受け付けております



■郵便振替口座 00130-2-594647

『NPOアジアの子供たちの就学を支援する会』

■西武信用金庫 秋川支店 033

普通口座 1292601

口座名 『NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会

理事長 長谷川 安年 (ハセガワ ヤストシ)』

**\*注 両口座名が異なりますのでご注意ください**

### あきる野多摩川学園カンボジア校通信

ASAP 会報 Vol.6 2010.10

■発行 ※NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会  
(省略“ASAP” Asia School Attendance Partnership)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間 429 番地

TEL 042-558-0218 (多摩川幼稚園内)

FAX 042-550-2467

メールアドレス asap@tamagawa-kids.jp

ホームページ <http://www.tamagawa-kids.jp/>

■発行人 長谷川 安年